



予防&治療効果で病害を広くカバー!
マンゼブとの混合剤

農業用殺菌剤

テーク®水和剤



農業用殺菌剤 **テーク**® 水和剤

- 浸透移行性、浸達性に優れるシメコナゾールと予防効果に優れるマンゼブの混合剤
- 治療効果と予防効果を併せ持つ
- 抗菌スペクトラムが広い



適用病名と使用方法

2016年12月14日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法	シメコナゾールを含む農薬の総使用回数	マンゼブを含む農薬の総使用回数
りんご	うどんこ病 モニア病 すす点病 すす斑病 褐斑病 黒星病 赤星病 斑点落葉病 黒点病	600～800倍	200～700L/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
なし	褐色斑点病	600倍	200～700L/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内	5回以内
かき	うどんこ病 落葉病 炭疽病	600倍	200～700L/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
みかん	そうか病 黒点病	500～600倍	200～700L/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内	4回以内
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	600倍		収穫90日前まで				
ぶどう	べと病 黒とう病 晩腐病 うどんこ病 灰色かび病	1000倍	200～700L/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
すいか	炭疽病 うどんこ病 つる枯病	600～800倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内	7回以内
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病	600～800倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内	5回以内
きゅうり	べと病 うどんこ病 炭疽病 灰色かび病 褐斑病	600～800倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
トマト	疫病 葉かび病 うどんこ病	800倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
ねぎ	さび病 べと病 黒斑病 葉枯病	600倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内 (は種時は1回以内)	3回以内
にんにく	さび病 葉枯病 白斑葉枯病	600～800倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	6回以内 (植付前:1回以内) (植付後の株元散布:2回以内) 散布:3回以内	5回以内
かぼちゃ	べと病 うどんこ病 疫病	600～800倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきる。
- 水溶性パック入りの製剤を使用する場合には、次の事項に注意すること。
 - ① 濡れた手でパックに触らないこと。
 - ② 外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、出来るだけ速やかに使い切ること。
 - ③ 薬液の調整は容器内に所定量の水の3分の1程度を入れた後、必要量の内袋を開封せずにそのまま容器内に投入する。その後、よく攪拌しながら容器内に水を定量まで加える。
- りんごに使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - ① モニア病に対しては、葉腐れの初発後すぐに散布すること。
 - ② 斑点落葉病に対しては、落花後20日頃までの初期防除剤として使用すること。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけること。
- ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- 極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に薬害のおそれがあるので注意すること。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- 重に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにすること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 粉末は眼に対して刺激性があるので、散布液調整時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。



水産動植物への注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきる。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。
- 水溶性フィルムで包装した製剤は、吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を強く閉じて保管すること。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所に置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

- * 本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には、使用しないでください。
- * 本印刷物は2024年2月現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

取扱い


**三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社**

 東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
 ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>